

## 基本的な品詞（単語の種類） Parts of Speech

### ○名詞 noun

○「もの」や「こと（事象・概念）」

- ・手に取って見ることができる具体的な名詞

desk, pencil, book, cake

- ・手に取って見ることのできない抽象的な名詞

darkness, kindness, fact

[ that he broke the window ] （彼がその窓を壊したということ）

[ to buy the book ] （その本を買うということ）

### ♡動詞 verb

- ・生物やものなどの動作や状態を表す。

☆演習 次の文の中で、動詞の部分に下線を引きなさい。

He runs fast.

He is young.

He likes dogs.

He gave me a present.

His letter made me happy.

### △形容詞 adjective

- ・名詞にかかり（を修飾し）、名詞の状態などについて情報を与える。

an old man    a young doctor    an interesting book

## ◇副詞 adverb

・「名詞以外のもの」にかかり（を修飾し）、次のような情報を与える。

いつ（時）／どこで、どこに（場所）／なぜ（原因・理由）／何のために（目的）／どんなふうに（状態）どのくらい（程度）／どうやって（手段）／もし～なら（条件）／～だけれども（譲歩）

・「名詞以外のもの」→動詞、形容詞、副詞、文全体

☆演習 次の文で副詞の働きをしている部分（語・句・節）を見つけなさい。

（下線部は一つのかたまりとして考えて解答すること）。

He runs very fast.

Yesterday he went there by bus.

I will go to the shop to buy some notebooks.

If it rains tomorrow, I will stay at home.

## □前置詞 preposition

・必ず「前置詞＋名詞」の組合せで使われる。

・「前置詞＋名詞」は二つの働きをする。

①「前置詞＋名詞」＝形容詞の働き

②「前置詞＋名詞」＝副詞の働き

☆次の文の下線部「前置詞＋名詞」は形容詞、副詞のどちらの働きをしているか答えなさい。

I live in Sapporo.

He runs in the garden with his dog.

I came to school by bus.

The lady in the car is my sister

# 主な前置詞

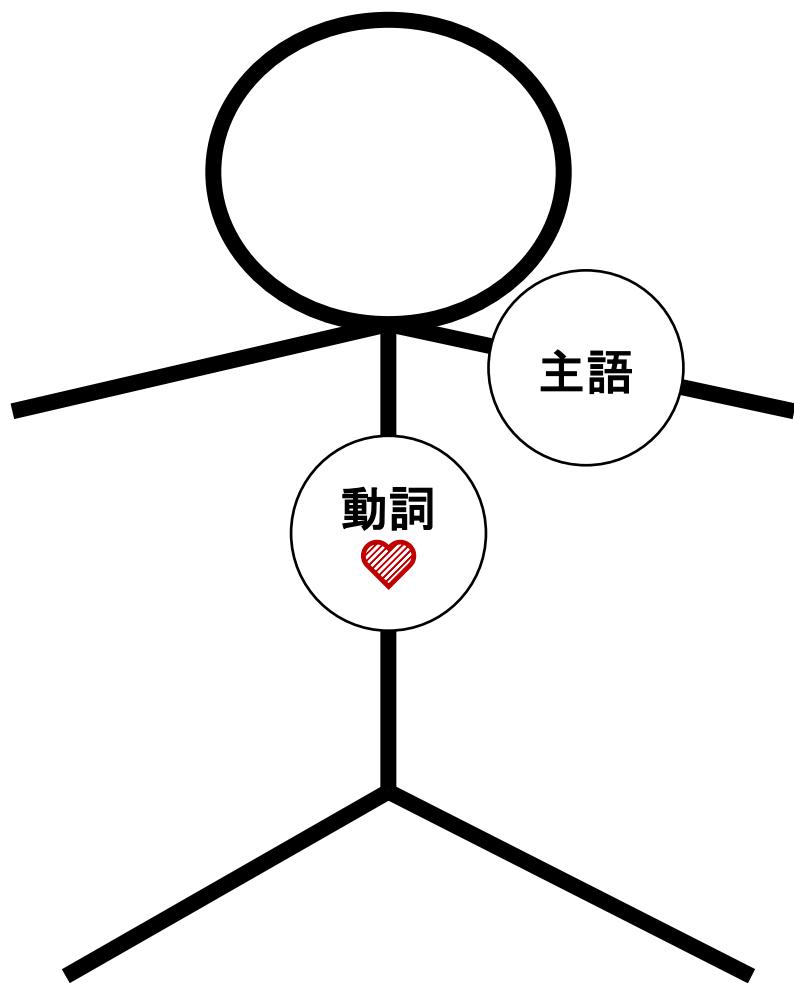
about	[～について] [～ぐらい、およそ～]
across	[～を横切って] [～の向こう側に]
after	[～の後に (時間/順序)]
against	[～に反対して]
as	[～として]
at	[～に、～で (場所)] [～に (時間)]
along	[～に沿って (方向)]
among	[～の間に (集団の中の位置)]
around	[～のあちこち] [～の周りに (位置)]
before	[～よりも前に (時間)] [～の前に (位置)]
behind	[～のうしろに (位置)]
below	[～より下に (位置)]
beside	[～のそばに、～と並んで (位置)]
between	[～の間に (場所/時間/関係)]
by	[～のそばに (位置)] [～によって (動作)] [～で (乗り物などで)] [～までに (限界/期限)] [～単位で、～ずつ]
despite	[～にもかかわらず]
during	[～の間じゅう (期間)] [～の間に]
except	[～以外は、～を除いて]
for	[～のために] [～に向かって] [～の間ずっと (期間)] [～に賛成する] [～が原因/理由で]
from	[～から] [～から (原料など)]
in	[～の中に] [～のうちに、間に (期間)] [～を身につけて] [～について、～の点では] [～のうちの、～の中で (割合)]
inside	[～の中に (場所)]
into	[～の中へ (内部へ)] [～になって (変化/推移)]

# 主な前置詞

like	[ ~のような (類似) ]
near	[ ~の近くに (場所/時間) ]
next	[ ~の隣に、次に ]
of	[ ~の (所属/所有/部分) ] [ ~の性質をもつ ] [ ~で作った (材料) ]
off	[ ~から離れて、外れて ]
on	[ ~の上に (位置) ] [ ~に、~の時に (時間) ] [ ~で、~によって (手段) ] [ ~の状態 ]
onto	[ ~の上へ、~の方へ ]
out	[ ~から外へ ]
outside	[ ~の外に ]
over	[ ~の上に ] [ ~より多く (超過) ] [ ~の間、~にわたって (期間) ] [ ~について ]
past	[ ~を過ぎて (時間) ] [ ~を通り過ぎて (場所) ]
since	[ ~以来、~から (経過) ]
than	[ ~よりも (比較) ]
to	[ ~に、~へ ] [ ~まで (限界/範囲) ] [ ~のために (目的) ] [ ~と比べて ]
toward	[ ~の方へ ]
under	[ ~の下に (位置) ] [ ~未満で ] [ ~中で ] [ ~の条件のもとで ]
until(till)	[ ~まで (継続) ]
with	[ ~と共に、~と一緒に ] [ ~を持っている ] [ ~で、~を使って (道具) ] [ ~しながら (状況) ] [ ~に関して ]
within	[ ~の内部に (場所) ] [ ~以内に (期間/距離) ]
without	[ ~を持たずに、~なしで ] [ ~しないで ]

# 文の骨格

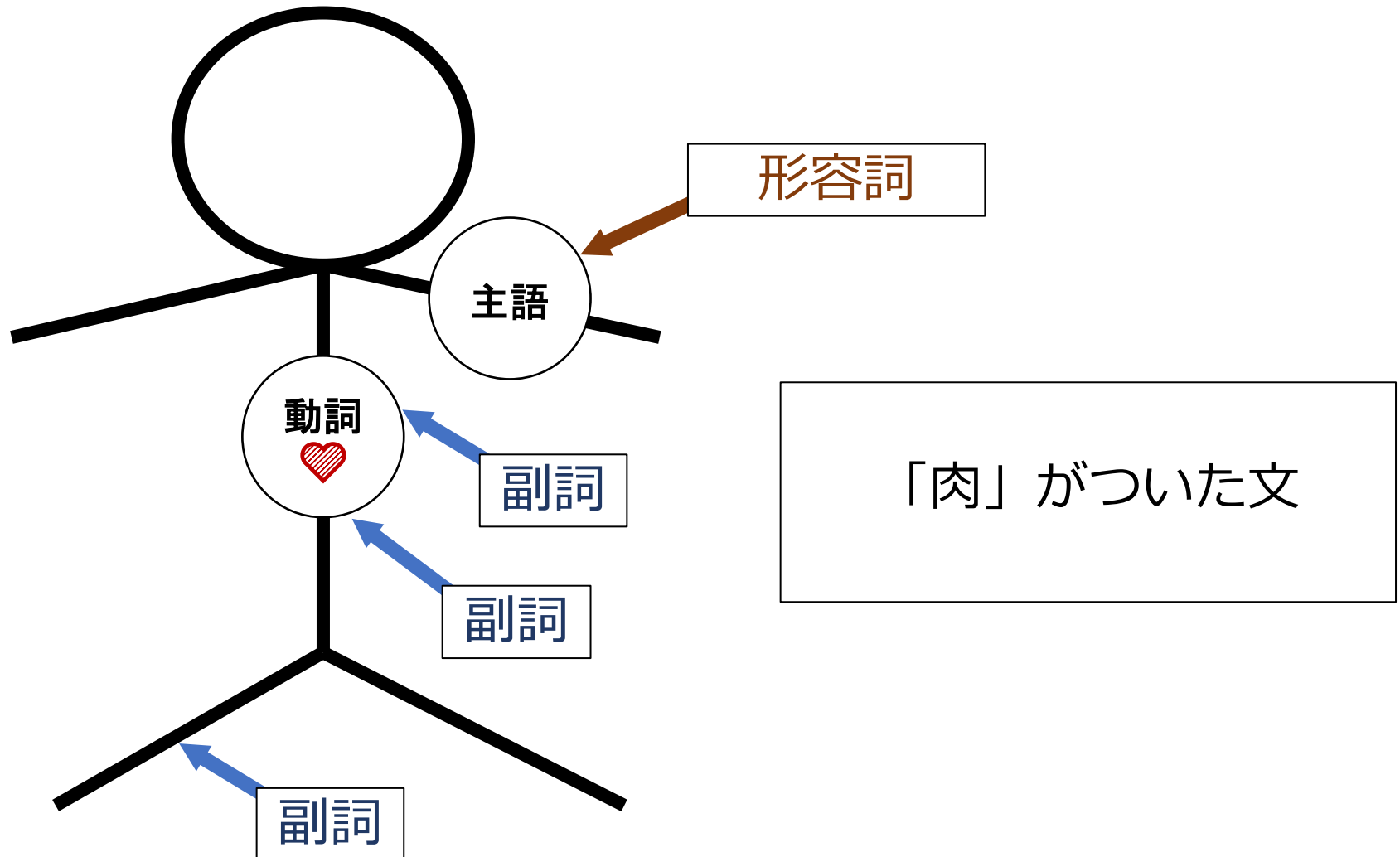
文は「骨(bone)」と「肉(flesh)」でできている



「骨」だけの文

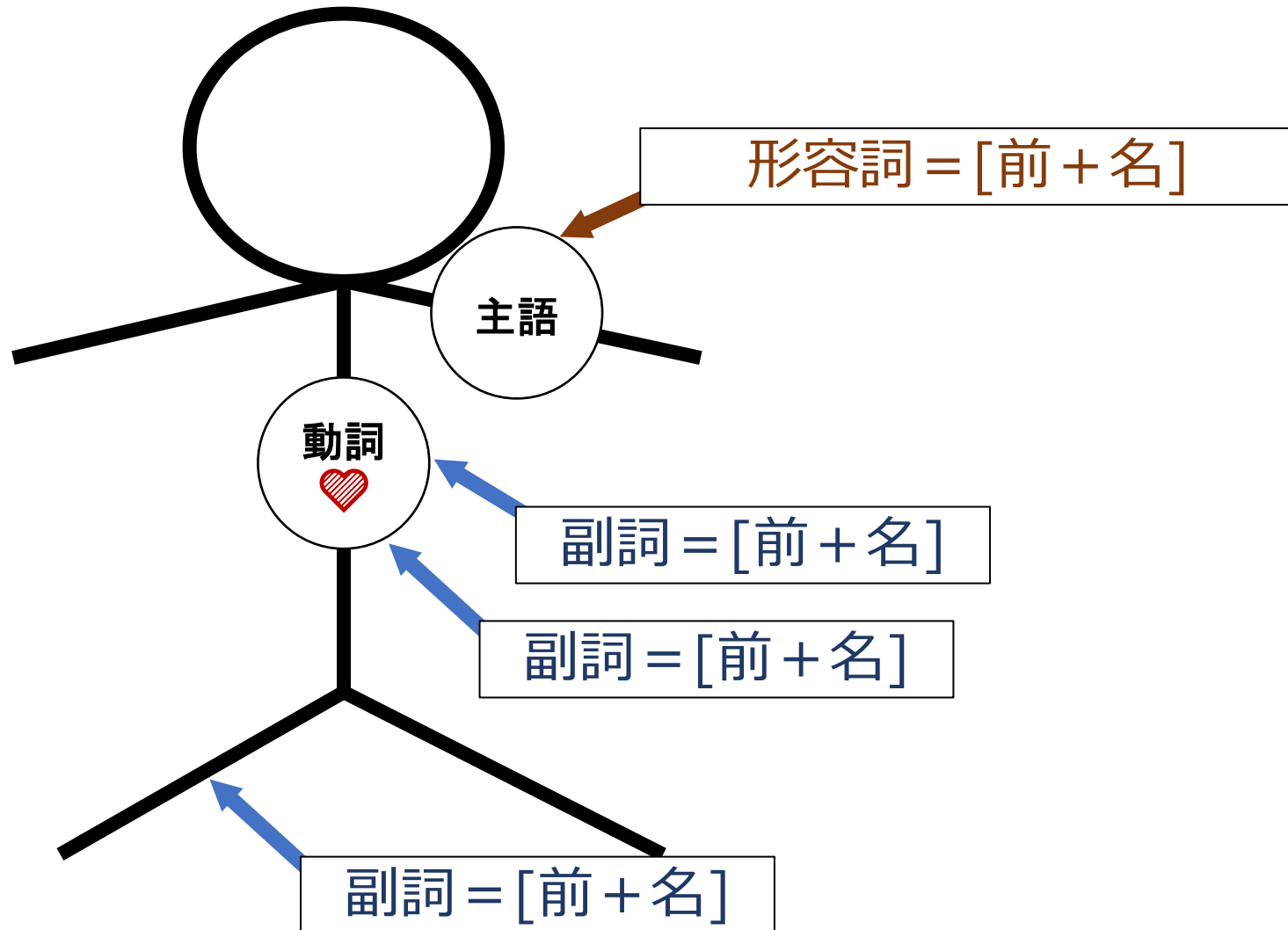
# 文の骨格と肉

「肉(flesh)」になるのは  
「形容詞(adjective)」か「副詞(adverb)」

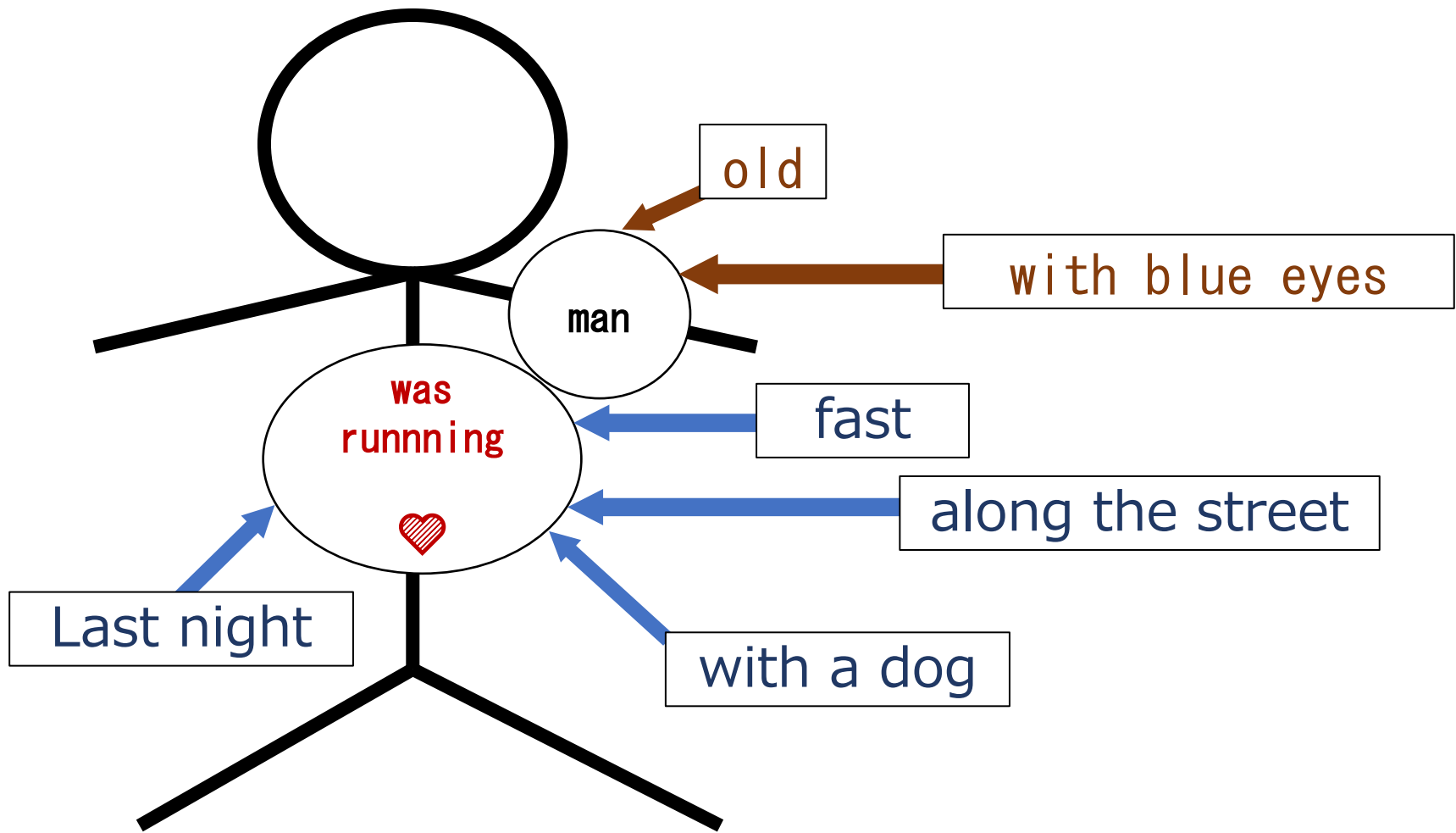


# 文の骨格と肉

「形容詞」か「副詞」の代わりに [前置詞+名詞] でもOK



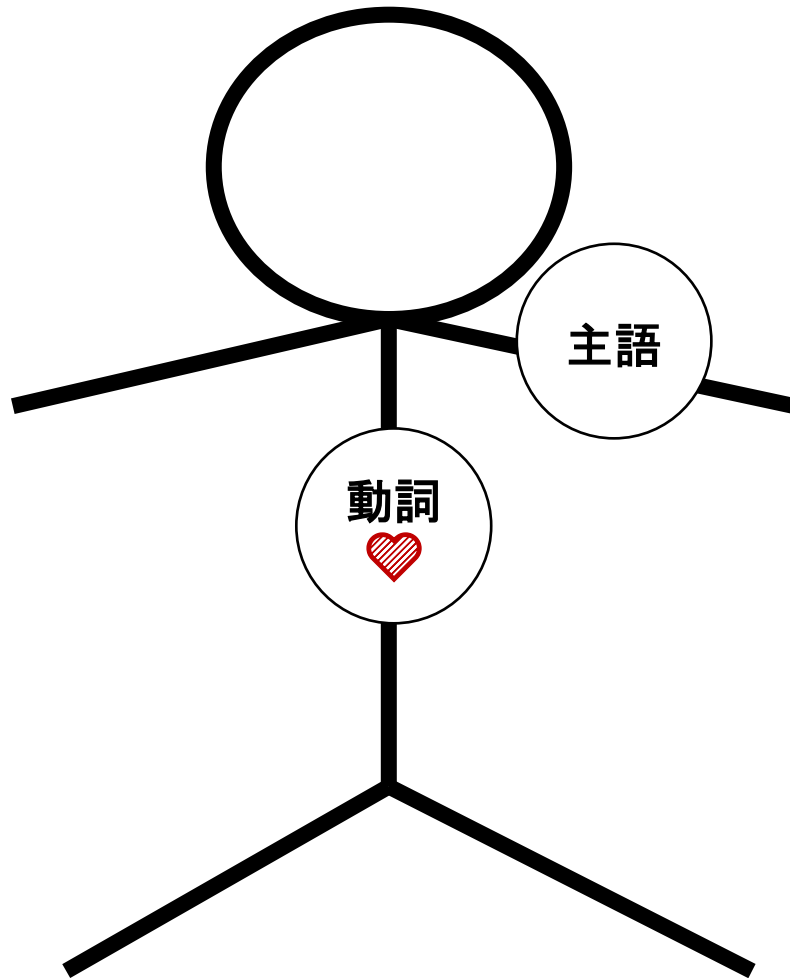
# 文の骨格と肉（具体例）



Last night **an old man** with blue eyes **was running** fast along the street with a dog.



# 文の骨格には5種類ある



= 5種類

# 文の骨格と肉の付き方を学ぶと

① 5種類の骨格を覚える。

②肉（形容詞や副詞）のつき方を覚える。



英語の文が理解できる。

言いたいことを英語で表現することができる。

## 5文型

### 1 S + V

この文型をとる動詞は数限りなくあります。

- ・ S (主語) と V (動詞) だけで、最低限の意味が完結するような意味を持つ動詞がつくる文型。

S + V

例 He runs.    He cried.    He walks.

### 2 S + V + C

この文型をとる動詞の数は限られています。

- ・ S と V だけでは、文が完結せず、「補語 (C)」を必要とする動詞がつくる文型。

S + V + C

○名詞か△形容詞

例 be~ (〜と=である)、become~ (〜になる)、seem~ (〜のように思われる)

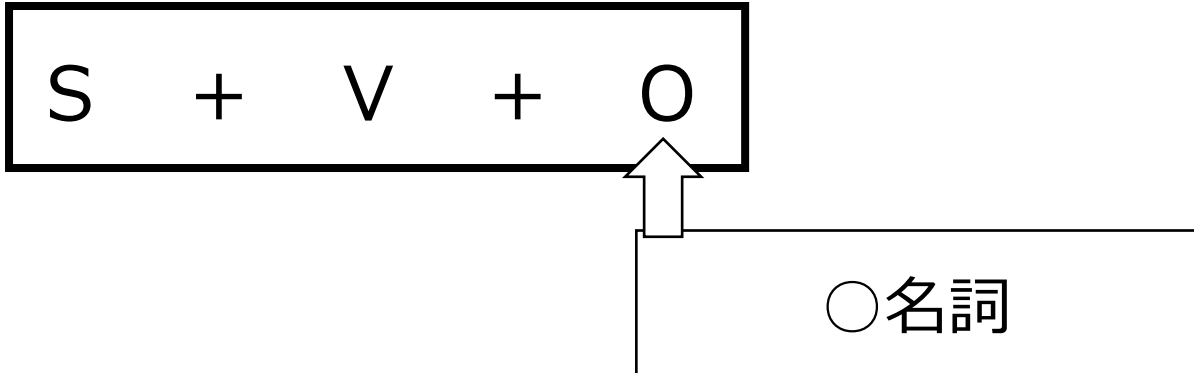
He is a student.    He became a doctor.    The story seems true.

- ・「補語 (C)」になれるものは、「名詞」か「形容詞」

**3 S + V + O**

この文型をとる動詞は数限りなくあります。

- ・ SとVだけでは、文が完結せず、必ず「目的語 (O)」 = 「～されるもの」を必要とする動詞がつくる文型。



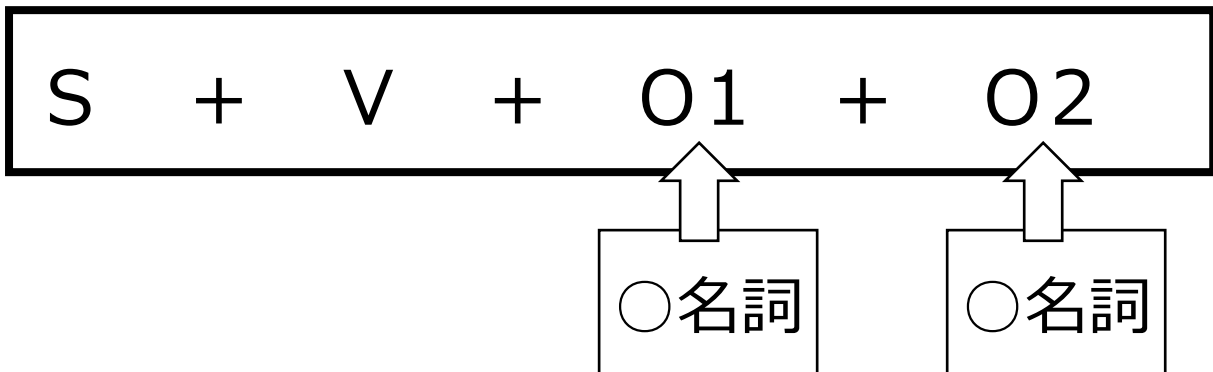
例 write (～を書く)、make (～をつくる)、play (～をする)

He wrote the letter. Lucy made the cake. They played soccer.

**4 S + V + O + O**

この文型をとる動詞の数は限られています。

- ・ 「目的語 (O)」 = 「～されるもの」を二つ必要とする動詞がつくる文型。
- ・ O1 = 「人」、O2 = 「もの」がくる。



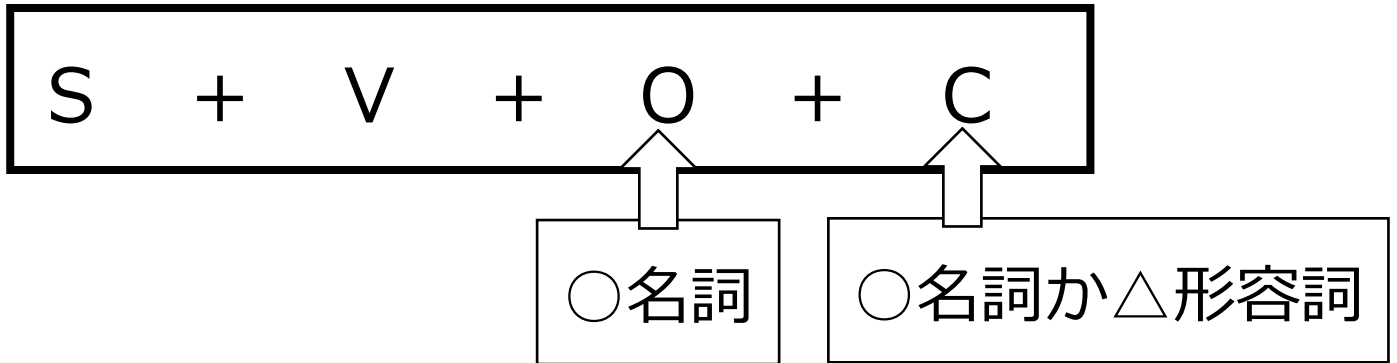
例 give (～に～を与える)、send (～に～を送る)、show (～に～を見せる)

Tom gave me this watch. Mary sent me an e-mail. He showed me the picture.

## 5 S + V + O + C

この文型をとる動詞の数は限られています。

・「目的語 (O)」を一つ必要とするが、それだけでは文が完結せず、さらに「補語 (C)」を必要とする動詞がつくる文型。



例 make (OをCにする)、name (OをCと名付ける)、paint (OをC色に塗る)

His letter made me happy.    They named the dog Pochi.

She painted the wall green.

※第2文型 (S + V + C)、第4文型 (S + V + O + O)、第5文型 (S + V + O + C) の文型を取る動詞は限られているので、動詞そのものを覚えてしまったほうが楽です。

## VERBS    S+V+C

### 【状態型】

be C*	C と=である	He is happy.
look C	C に見える	He looks happy.
seem C		She seems sad.
appear C		She appears well today.
keep C	C のままである	He kept silent.
remain C		The stores remain open.
lie C	C の状態で横になる	He lay still.

\*補語には「名詞」か「形容詞」が来る。(その他の動詞の補語は「形容詞」のみ)

### 【変化型】

become C*	C になる	She became ill.
get C		My father got drunk.
turn C	C に変わる	Leaves turned red.
grow C	成長して C になる	The market grew bigger.
make C	C なふりをする	She made merry.
come C	C になる	The dream came true.
go C	C になる	The fruit went bad.
fall C	C になる	I fell asleep.

\*補語には「名詞」か「形容詞」が来る。(その他の動詞の補語は「形容詞」のみ)

### 【感覚型】

smell C	C なにおいがする	This flower smells sweet.
taste C	C な味がする	This fruit tastes sweet.
feel C	C な感じがする	Silk feels soft.
sound C	C に聞こえる	Your story sounds strange

※「補語」Cとして使用される「形容詞」は、名詞には直接かかりません(修飾しません)。

# VERBS S+V+O1+O2

【to 型】

bring O1 O2	～に～を持って来る	He brought me today's newspaper.
give O1 O2	～に～を与える	I gave her a watch.
hand O1 O2	～に～を手渡す	She handed him the car key.
lend O1 O2	～に～を貸す	They lent her a lot of money.
offer O1 O2	～に～を提供する	The company offered him a nice job.
owe O1 O2	～に～を借りている	He owes me three hundred dollars.
pass O1 O2	～に～を手渡す	The receptionist passed me a pen.
pay O1 O2	～に（代金）を払う	She hasn't paid the landlord the rent for this month.
read O1 O2	～に～を読んで聞かせる	I will read you a bedtime story tonight.
sell O1 O2	～に～を売る	She will sell you her watch.
send O1 O2	～に～を送る	They sent us a catalogue.
show O1 O2	～に～を見せる	The attendant showed me the map.
teach O1 O2	～に～を教える	She teaches us physics every Thursday.
tell O1 O2	～に～を話す	My best friend told me a secret.
throw O1 O2	～に～を投げる	She threw me a towel.
wish O1 O2	～に～を祈る	We wish you a good luck.
promise O1 O2	～に～を約束する	She promised me a reward.
write O1 O2	～に（手紙）を書く	My son wrote me a letter last month.

※O1 には「人」が来る。O2 には「物」が来る。

※O1 と O2 の順序を逆にすることもできる。その際には「前置詞」の「to」が必要になる。  
また、文型も変化する。

例 I gave her a watch. (4文型)  
 (S) (V) (O1) (O2)

↓

I gave a watch [to her]. (3文型)

注：[to her]は「前置詞+名詞」なので、「副詞句」になるため、目的語（O）ではなくなります。

【for 型】

buy O1 O2	～に～を買ってやる	John bought her some flowers.
cook O1 O2	～に～を料理する	The chef cooked us a wonderful meal.
find O1 O2	～に～を見つけてやる	He found us a taxi.
get O1 O2	～に～を手に入れてやる	Her father got her a brand-new camera.
make O1 O2	～に～を作ってやる	Mary made him a cup of coffee during the break.
order O1 O2	～に～を注文してやる	He ordered me a new suit from his favorite tailor.
sing O1 O2	～に～を歌って聞かせる	She sang the guests some songs.
fetch O1 O2	～に～を取って来る	Shall I fetch you a blanket?
choose O1 O2	～に～を選んでやる	I chose him a nice car.

※O1 には「人」が来る。O2 には「物」が来る。

※O1 と O2 の順序を逆にすることもできる。その際には「前置詞」の「for」が必要になる。  
また、文型も変化する。

例 He found us a taxi. (4 文型)  
 (S) (V) (O1) (O2)

↓

He found a taxi [for us]. (3 文型)

注：[for us]は「前置詞+名詞」なので、「副詞句」になるため、目的語 (O) ではなくなります。

【of 型】

ask O1 O2	～に～を尋ねる	She asked me a question.
-----------	---------	--------------------------

※O1 には「人」が来る。O2 には「物」が来る。

※O1 と O2 の順序を逆にすることもできる。その際には「前置詞」の「of」が必要になる。  
また、文型も変化する。

例 She asked me a question. (4 文型)  
 (S) (V) (O1) (O2)

↓

She asked a question [of me]. (3 文型)

注：[of us]は「前置詞+名詞」なので、「副詞句」になるため、目的語 (O) ではなくなります。



VERBS      S+V+O+C

call O C	OをCと呼ぶ	Everyone calls her Mary.
name O C	OをCと名づける	She named her dog Max.
appoint O C	OをCに任命する	The class appointed John chairman.
elect O C	OをCに選任する	They elected Mr. Sato mayor.
find O C	OをCであると気づく	She found the book interesting.
paint O C	OをC色に塗る	She painted the wall blue.
keep/get O C	OをCにしておく、保つ、維持する	Regular exercise keeps you healthy.
leave O C	OをCの状態のままにしておく、放置する	He left the door open.
make O C	OをCの状態にする	Tom made the room clean.
think O C	OをCと思う	I think him crazy.
believe O C	OをCと信じる	I believed the story true.
consider O C	OをCとみなす	We considered him a great musician.
choose O C	OをCに選ぶ	We choose him captain.

※「目的語」Oは必ず「名詞」になる。

※Cは「名詞」か「形容詞」

※「補語」Cとして使用される「形容詞」は名詞には直接かかりません。（修飾しません）。

VERBS S+V+O+C

Cに「動詞の原形」が来る動詞

have O C (原)	普通に OにCしてもらう	I had my mother <b>take</b> my son to the hospital.
make O C (原)	無理やり OにCさせる	I made my students <b>sing</b> the song.
let O C (原)	やりたいと言っているの で、OにCさせる	I will let my children go to the party.

Cに ①「動詞の原形」  
②「現在分詞(---ing)」  
③「過去分詞(---ed など)」 が来る動詞

see O C	①OがC <u>するの</u> を見る ②OがC <u>しているの</u> を見る ③OがC <u>されるの</u> を見る	I saw something <b>move</b> in the garden. My mother saw Tom <b>driving</b> his father's car. I saw the window <b>broken</b> by a thief.
notice O C	①OがC <u>するの</u> に気づく ②OがC <u>しているの</u> に気づく ③OがC <u>されるの</u> に気づく	I noticed something <b>move</b> in the dark. I noticed someone <b>trying</b> to open the door. I noticed the door <b>opened</b> by someone.
hear O C	①OがC <u>するの</u> を聞く ②OがC <u>しているの</u> を聞く ③OがC <u>されるの</u> を聞く	I heard him <b>cry</b> . I heard Tom <b>singing</b> the song. I heard the song <b>sung</b> by the choir.
feel O C	①OがC <u>するの</u> を感じる ②OがC <u>しているの</u> を感じる ③OがC <u>されるの</u> を感じる	I felt something <b>move</b> in the dark. I felt my hands <b>trembling</b> with fear. I felt my shoulder <b>touched</b> by something cold.

## 文を副詞にしてしまう接続詞

[ 接続詞 + 文 ] → [ 副詞 ]

- 文の頭に付けると、その文が **副詞** となる。
- 副詞になったら、その文は**他の文の肉**となる。
- 文と文をつなぐので、そのような単語を接続詞と呼ぶ。

### 副詞とは（復習）

- 「**名詞以外のもの**」にかかり（を修飾し）、次のような情報を与える。  
いつ（時）／どこで、どこに（場所）／なぜ（原因・理由）／何のために（目的）  
どんなふうに（様態）／どのくらい（程度）／どうやって（手段）／もし～なら（条件）  
～だけれども（譲歩） ※「名詞以外のもの」→動詞、形容詞、副詞、文全体

### 理由を表すもの [ because, since, as + 文 ] ~なので

1. I didn't buy the cake, [ **because I don't like an apple** ].
2. [ **Since he is an honest man** ], everyone loved him.
3. [ **As he was young** ], he couldn't understand the story.

- ※because（理由が相手にとって新情報のとき）
- ※since ≒ as（相手も理由がわかっているとき）

### 時を表すもの

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| [ <b>after + 文</b> ] ~する（した）後 | [ <b>before + 文</b> ] ~する前 |
| [ <b>while + 文</b> ] ~する間     | [ <b>when + 文</b> ] ~する時   |
| [ <b>as + 文</b> ] ~するにつれて     |                            |

1. [ **When I was young** ], my father often took me to the stadium.
2. She enjoyed playing tennis with Mary, [ **after she came back home** ].
3. Please wash your hands, [ **before you eat your lunch** ].
4. [ **While I was in Japan** ], I learned to speak Japanese well.

## 文を副詞にしてしまう接続詞

### 条件を表すもの

[ if + 文 ] もし～なら

[ **If** the place is very dangerous for humans ], this robot can go there.

### 譲歩を表すもの

[ **though** + 文 ] ～だけれども [ **although** + S+V--- ] ～だけれども

[ **whether** + 文 ] ～であろうとなかろうと

[ **Though** he is young ], he knows much about the theory.

I said yes, [ **although** I didn't like the plan ].

[ **Whether** he is a president or not ], I don't follow him.

### ---ever の形の接続詞

[ **whenever** + 文 ] ～するときはいつでも／たとえいつ～しても

[ **wherever** + 文 ] ～するところはどこでも／たとえどこ（で、へ）～しても

[ **whichever** + 文 ] ～するものはどちらでも／たとえどちら（が、を）～しても

[ **whatever** + 文 ] ～するものはどれでも／たとえ何を～しても

[ **however** + 文 ] いかにか～しても

1. [ **Wherever** you are ], I always make you smile.

2. [ **Whatever** you say ], I'm always by your side.

3. [ **Whichever** you choose ], we have no problem.

4. [ **However** hard you may knock the door ], the door will not open.

## 文を名詞にしてしまう接続詞

[ 接続詞 + 文 ] → [ 名詞 ]

○文の頭に付けると、その文が **名詞** となる。

○名詞になったら、その文は、  
他の文の **S** (主語) や **O** (目的語) や **C** (補語) として取り込まれる。

○文と文をつなぐので、そのような単語を接続詞と呼ぶ。

[ **that** + 文 ] ~ということ    [ **if** + 文 ] ~かどうかということ

[ **whether** + 文 (or not) ] ~かどうかということ

I think [ **that** he is an honest man ].

I'm telling you [ **that** you are my angel ].

I don't know [ **whether** he is a president or not ].

[ **Whether** he went there or not ] is unknown.

I don't know [ **if** it is true ].

## Be 動詞の文型は1文型か2文型

① 「ある、いる」という**存在を表す意味**でつかわれるとき

1文型 (S+V)

1. I **am** always with you.
2. Lucy **is** in the kitchen now.
3. There **is** a book on the table.

② 「**～と=だ**」 という意味でつかわれるとき

2文型 (S+V+C)

1. He **is** a student of Seisa Dohto University.
2. The picture **was** very beautiful.
3. The book **is** very difficult for me.
4. He **is** watching TV now.
5. The letter **was** written by Tom.

かたまりで 形容詞 として機能し 名詞を修飾	【前置詞+名詞】		The book [ <u>on</u> the table ] is mine.	文の中で 肉 として使われる
	【不定詞 (to~)】	~するための ~すべき	I have one thing [ to say ].	
	【現在分詞 (~ing)】	~している	The lady [ <u>standing</u> at the gate ] is my mother.	
	【過去分詞 (~edなど)】	~された、~してしまった	This is the camera [ <u>made</u> in Japan ].	
	【関係詞+(S)+V~】		This is the picture [ which he took ].	

かたまりで 副詞 として機能し 名詞以外を修飾	【前置詞+名詞】		I live [ <u>in</u> this house ].	文の中で 肉 として使われる
	【不定詞 (to~)】	①~するために (目的)	① I went to the shop [ to buy the book ].	
		②~するなんて (判断)	② You are very clever [ to understand this book ].	
		③そして~した (結果)	③ He grew up [ to be a doctor ].	
		④~して (原因)	④ I'm very glad [ to see you ].	
⑤~するほど (程度)		⑤ He is old enough [ to understand the book ].		
【接続詞+S+V~】		I don't like this book, [ <u>because</u> the story isn't interesting ].		

かたまりで 名詞 として機能するもの	【不定詞 (to~)】	~する (である) こと	I want [ to read the book ].	文の骨を構成し 主語 (S) 補語 (C) 目的語 (O) として使われる
	【動名詞 (~ing)】	~する (である) こと	I like [ playing basketball ].	
	【接続詞+S+V~】	~ということ	I know [ that he went there ].	

## 「形容詞」の働きをする語・句・節

### 1 形容詞の働きとは

### 2 形容詞の働きをする語・句・節

#### ① 形容詞そのもの

a big city / a tall building / a handsome boy / a beautiful picture

#### ② [前置詞+名詞]

a book [on the table] / a student [of Seisa Dohto Univ.]

#### ③ 現在分詞 -ing[~している]

a running man / a lady sitting on the bench

#### ④ 過去分詞 cooked, made, written など [~された・してしまった] 動詞の変化の3番目

iced coffee / a broken window / a camera made in Japan

#### ⑤ 不定詞 [to + 動詞の原形] ~するための、~すべき

water [to drink] / a tool [to fix this car with] / something [to eat]

#### ⑥ 関係代名詞 (文を形容詞にするもの)

the boy [who broke the window]

the book [(which) I bought yesterday]

the house [whose roof is red]

the house [(which) you can see over there]



# 関係代名詞（文を形容詞にしてしまうもの）

## 1 文を形容詞にするということはどういうことか。

(名詞) the man (男)

↑

(文) [The man broke the window] (その男はその窓を割った。)

①この「文」を「形容詞」にして、the man という「名詞」を修飾させたい。

②関係代名詞を使うと、[その窓を割った][男] という表現が可能となる。

## 2 関係代名詞の種類

	主格	所有格	目的格
人	who	whose	whom
人以外	which		which
何でも	that	—	that

## 3 手順

①同一指示物（上と下の文の中で同じものを指しているもの）を探す。

②「形容詞にするほうの文」の中のそれを関係代名詞にする。

（主語だったら主格、目的語だったら目的格を選ぶ）

③その関係代名詞を同一指示物のすぐ後ろに置く。

④残ったものをそのまま続ける。

1. the man.

He broke the window.

2. the pen.

I bought it yesterday.

3. the friends.

He can trust them.

4. the girl

You saw her at the door.

5. the book

Its cover is blue.

問題 二つの文を一つの文に結合しなさい。

1. She has a son.

He is very kind.

2. The boy is my brother.

You met him yesterday.

3. I want to have a car.

It runs very fast.

4. A woman is called a widow.

Her(The woman's) husband is dead.

5. The building is our school.

Its (The building's) roof is red.

# 「形容詞」の働きをする語・句・節

## 1 形容詞の働きとは

## 2 形容詞の働きをする語・句・節

### ① 形容詞そのもの

a big city / a tall building / a handsome boy / a beautiful picture

### ② [前置詞+名詞]

a book [on the table] / a student [of Seisa Dohto Univ.]

### ③ 現在分詞 -ing[~している]

a running man / a lady sitting on the bench

### ④ 過去分詞 cooked, made, written など [~された] 動詞の変化の3番目

iced coffee / a broken window / a camera made in Japan

### ⑤ 不定詞 [to + 動詞の原形] ~するための、~すべき

water [to drink] / a tool [to fix this car] / something [to eat]

### ⑥ 関係代名詞 (文を形容詞にするもの)

the boy [who broke the window]

the book [(which) I bought yesterday]

the house [whose roof is red]

the house [(which) you can see over there]

# 関係代名詞（文を形容詞にしてしまうもの）

## 1 文を形容詞にするということはどういうことか。

(名詞) the man (男)

↑

(文) [The man broke the window] (その男はその窓を割った。)

この「文」を「形容詞」にして、the man という「名詞」を修飾させたい。

関係代名詞を使うと、[その窓を割った] [男] という表現が可能となる。

## 2 関係代名詞の種類

	主格	所有格	目的格
人	who	whose	whom
人以外	which		which
何でも	that	—	that

## 3 手順

- ①同一指示物（同じものを指しているもの）を探す。
- ②形容詞にする文の中のそれを関係代名詞にする。（主語だったら主格、目的語だったら目的格を選ぶ）
- ③その関係代名詞を同一指示物のすぐ後ろに置く。
- ④残ったものをそのまま続ける。

### 1. the man.

He broke the window.

### 2. the pen.

I bought it yesterday.

### 3. the friends.

He can trust them.

4. the girl

You saw her at the door.

5. the book

It's cover is blue.

問題 二つの文を一つの文に結合しなさい。

1. She has a son.

He is very kind.

2. The boy is my brother.

You met him yesterday.

3. I want to have a car.

It runs very fast.

4. A woman is called a widow.

Her husband is dead.

5. The building is our school.

Its roof is red.

名詞のかたまりを作る疑問詞 (Wh-)

[ 疑問詞 + (S) + V ~ ] → [ 名詞 ]

○上の形で、[ ]の部分が 名詞 としての資格を持つ。

○名詞になったので、[ ]の部分は、  
文の中でS (主語) やO (目的語) やC (補語) として使われる。

[ when S + V ~ ]	[ いつ~かということ ]
[ where S + V ~ ]	[ どこ (で・に) ~かということ ]
[ who S + V ~ ]	[ だれ (が・に・を) ~かということ ]
[ what S + V ~ ]	[ 何 (が・を) ~かということ ]
[ which S + V ~ ]	[ どちらを~かということ ]
[ which . . . S + V ~ ]	[ どちらの . . . を~かということ ]
[ why S + V ~ ]	[ どうして (なぜ) ~かということ = ~の理由 ]
[ how S + V ~ ]	[ どうやって~かということ = ~の方法 ]

I don't know [when he returned to Tokyo ].

Tell me [ where you bought the watch ].

[ Who wrote the book ] is unknown.

I can't understand [ what the writer wants to tell us ].

No one knows [ which he selected ].

He knows [ which way he should take ].

I can't tell you [ why I said no ].

This is [ how he entered the room ].

名詞のかたまりを作る疑問詞 (Wh-)

[ 疑問詞 + to ~ ] → [ 名詞 ]

○上の形で、[ ]の部分が 名詞 としての資格を持つ。

○名詞になったので、[ ]の部分は、  
文の中でS (主語) やO (目的語) やC (補語) として使われる。

[ when to ~ ]	[ いつ~すべきかということ ]
[ where to ~ ]	[ どこ (で・に) ~すべきかということ ]
[ what to ~ ]	[ 何 (が・を) ~すべきかということ ]
[ which to ~ ]	[ どちらを~すべきかということ ]
[ which . . . to ~ ]	[ どちらの . . . を~すべきかということ ]
[ how to ~ ]	[ どうやって~すべきかということ ]

I don't know [ when to go ].

[ When to call him ] isn't decided.

I asked my teacher [ where to sit ].

We told him [ what to see in Tokyo ].

I don't know [ which to buy, A or B ].

The most important thing is [ which way to take ].

Could you tell me [ which bus to take to get to the station ]?

Please explain [ how to play the game ].